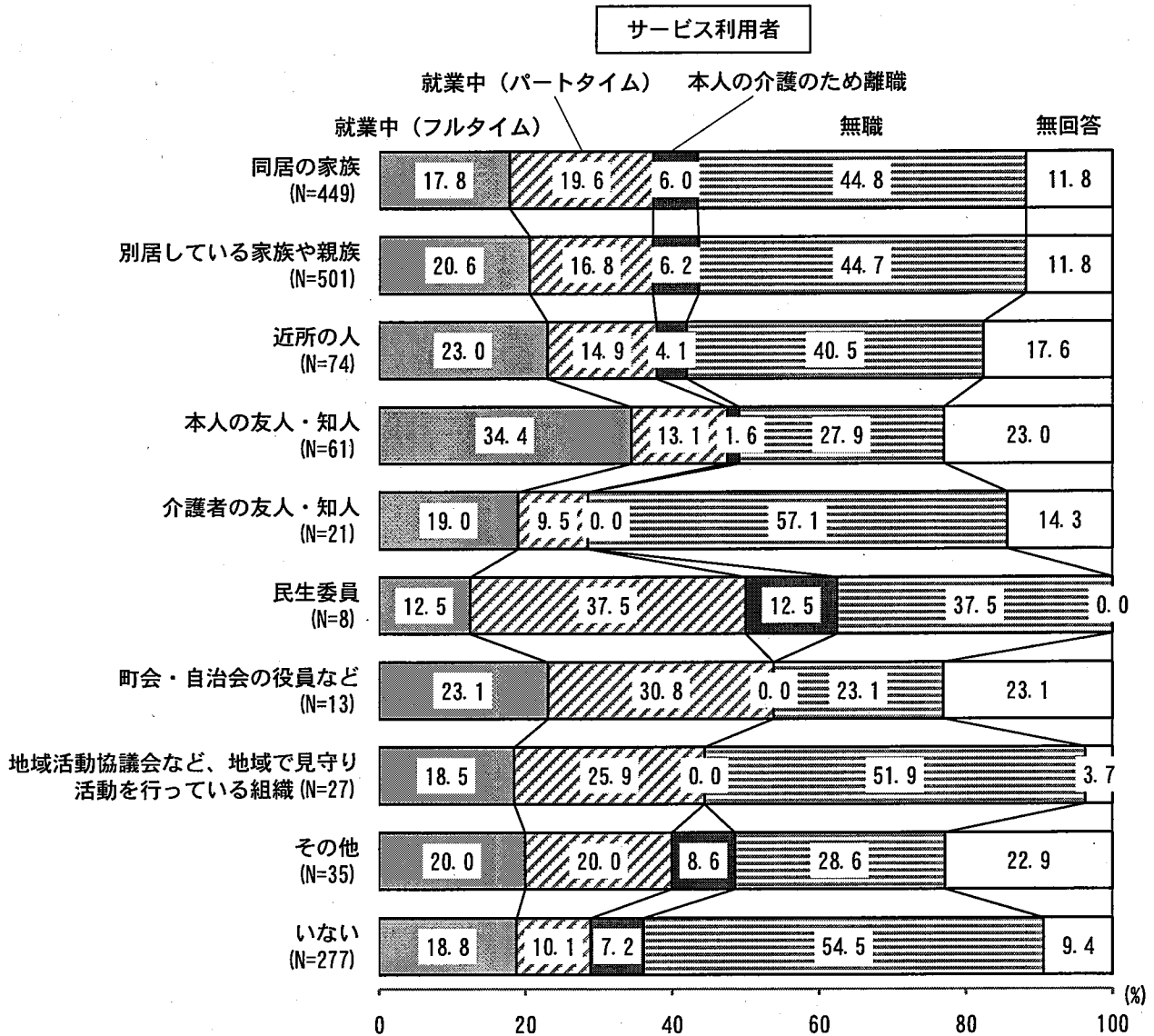


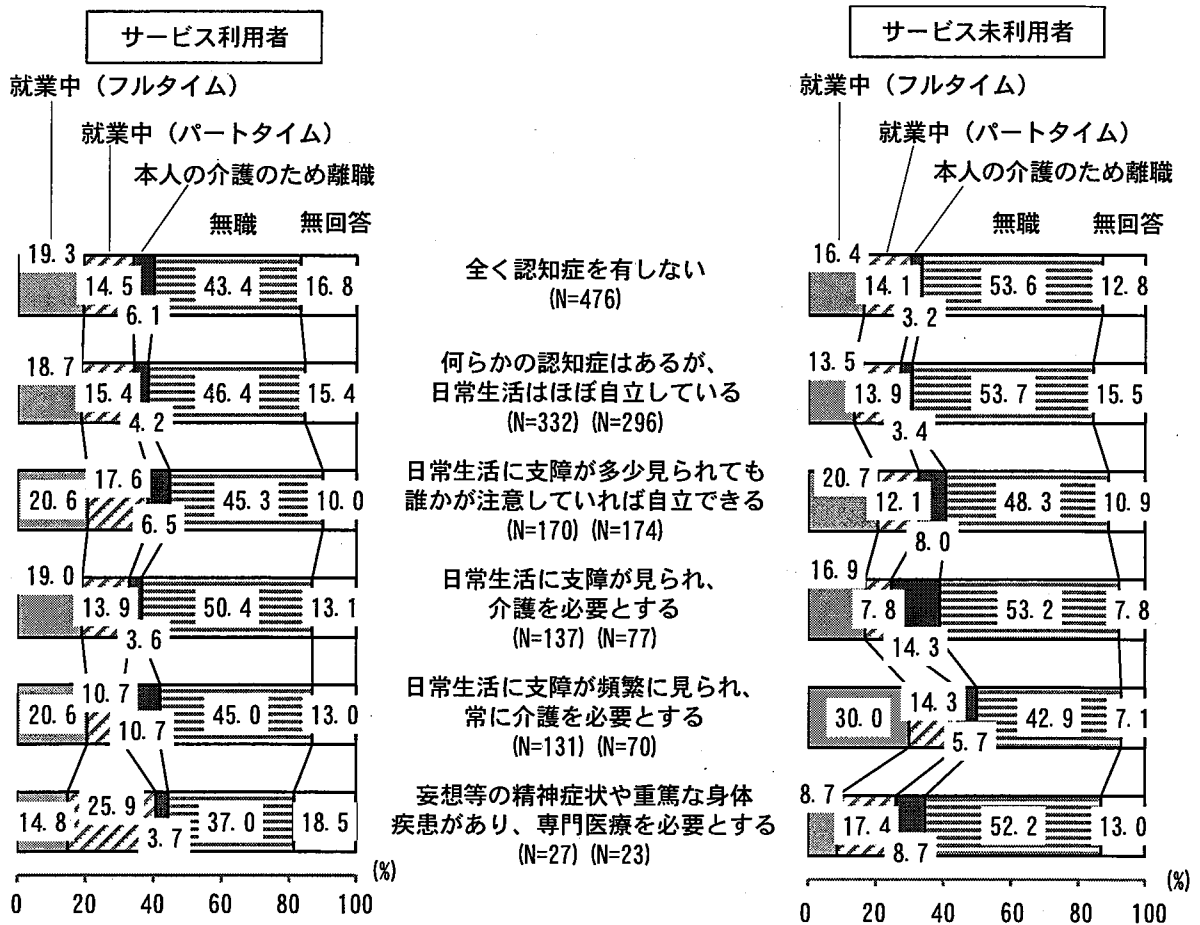
サービス利用者で介護保険サービス提供者以外で介護を手助けしてくれる方別でみると、本人の友人・知人は「就業者（フルタイム）」が、町会・自治会の役員などは「就業者（パートタイム）」が、それぞれ最も多くなっているが、それら以外で介護を手助けしてくれる人は「無職」が最も多くなっている。また、『就業者』割合では、同居の家族、別居している家族や親族、近所の人、本人の友人・知人は47.5%を占めており、本人の友人・知人は47.5%となっている。（図3-9-7）

【図3-9-7 介護者の就業状況（介護保険サービス提供者以外で介護を手助けしてくれる方別）】



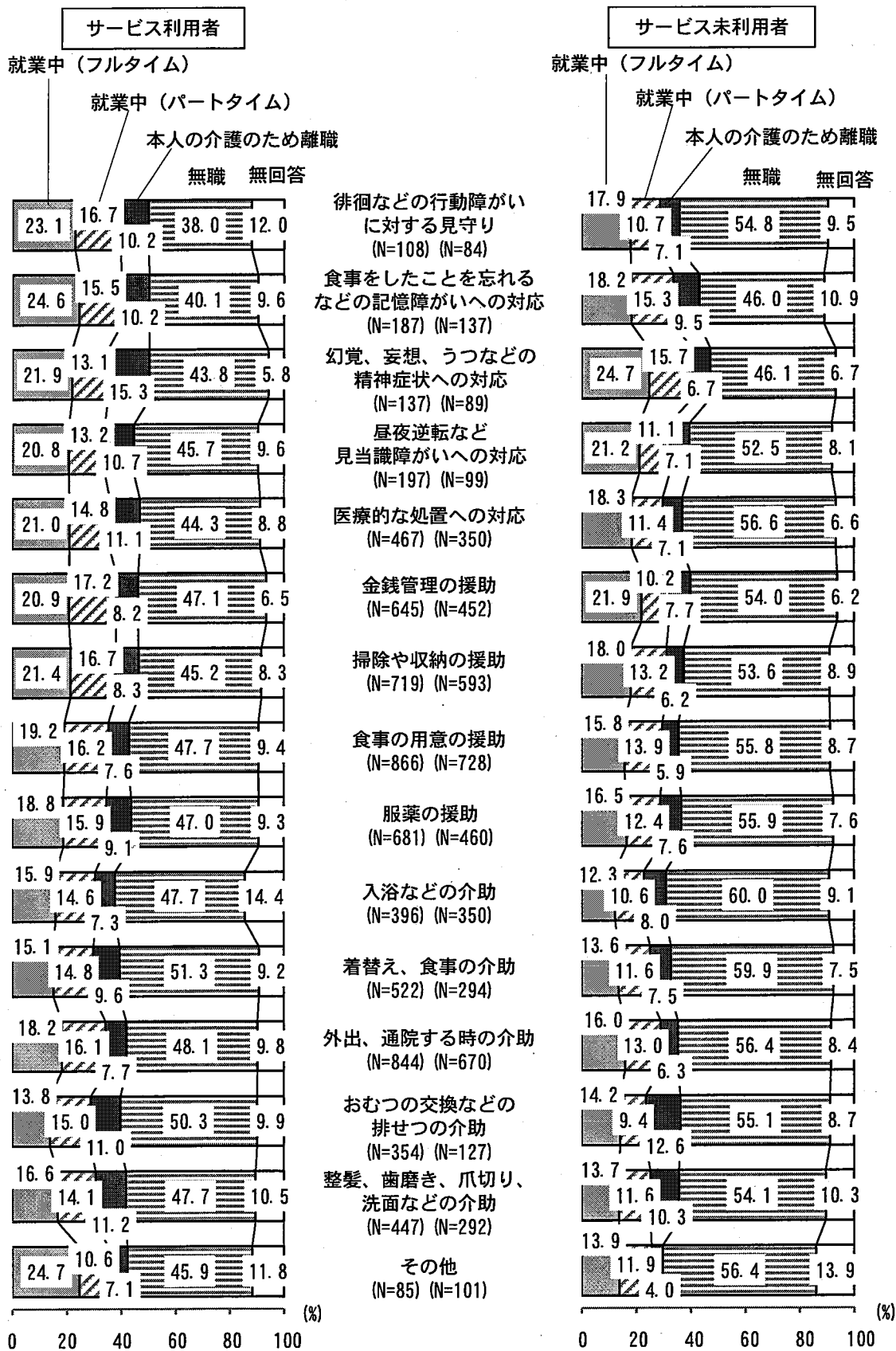
本人の認知症の程度別でみると、サービス利用者・未利用者の両介護者とも「無職」が、認知症の程度に関わらず最も多くなっている。また、『就業者』割合では、サービス利用者は、専門医療を必要とする人の介護者が40.7%で最も高く、サービス未利用者は、常に介護を必要とする人の介護者が44.3%で最も高くなっている。(図3-9-8)

【図3-9-8 介護者の就業状況（本人の認知症の程度別）】



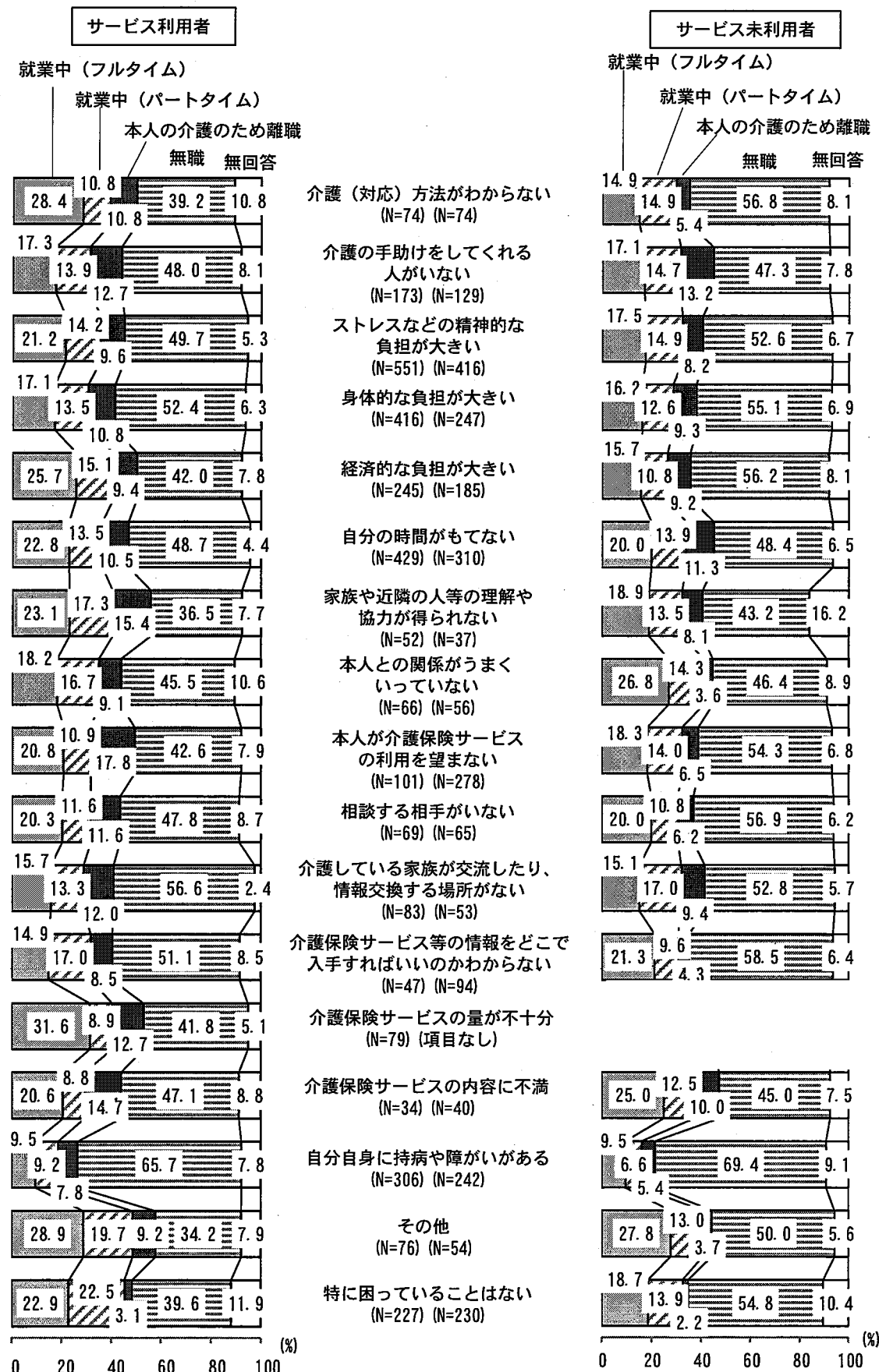
本人への介護内容別でみると、サービス利用者・未利用者の両介護者とも「無職」が、介護内容に関わらず最も多くなっている。(図3-9-9)

【図3-9-9 介護者の就業状況 (本人への介護内容別)】



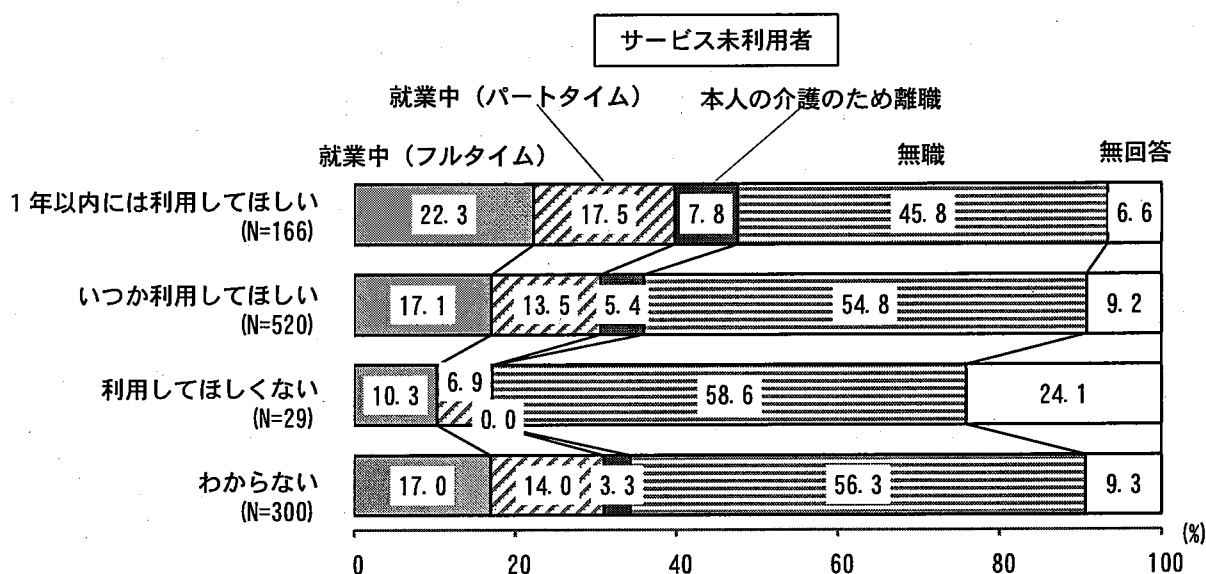
介護を行ううえで困っていること別でみると、サービス利用者・未利用者の両介護者とも「無職」が、困っていることに関わらず最も多くなっている。なお、自分自身に持病や障がいがある介護者は、サービス利用者・未利用者とも「無職」が6割台を占めている。(図3-9-10)

【図3-9-10 介護者の就業状況（介護を行ううえで困っていること別）】



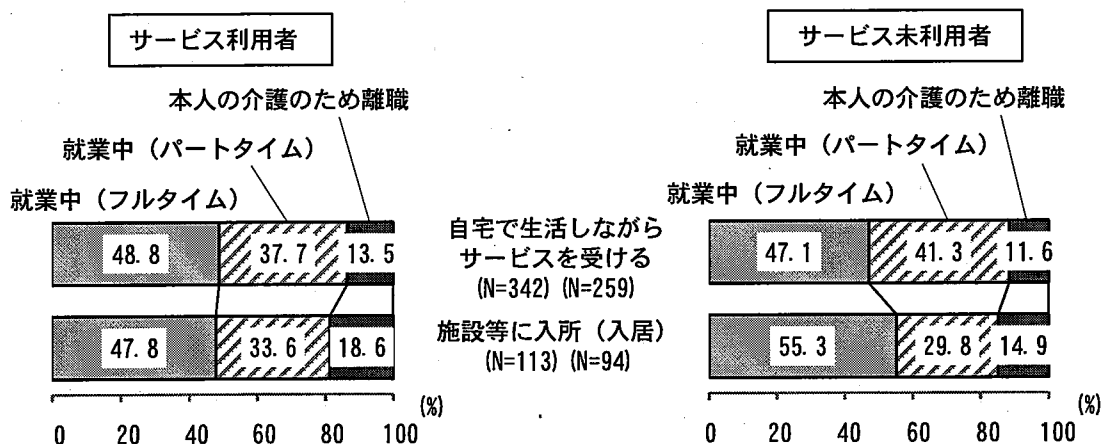
サービス未利用者本人にしてほしい介護保険サービス別でみると、利用希望の有無に関わらず「無職」が最も多くなっている。しかし、1年以内には利用してほしいと思う介護者は「就業者（フルタイム）」が22.3%、「就業者（パートタイム）」は17.5%で『就業者』割合が39.8%を占めている。いつか利用してほしいと思う介護者は『就業者』割合が30.6%となっている。（図3-9-11）

【図3-9-11 介護者の就業状況（本人に利用してほしい介護保険サービス別）】



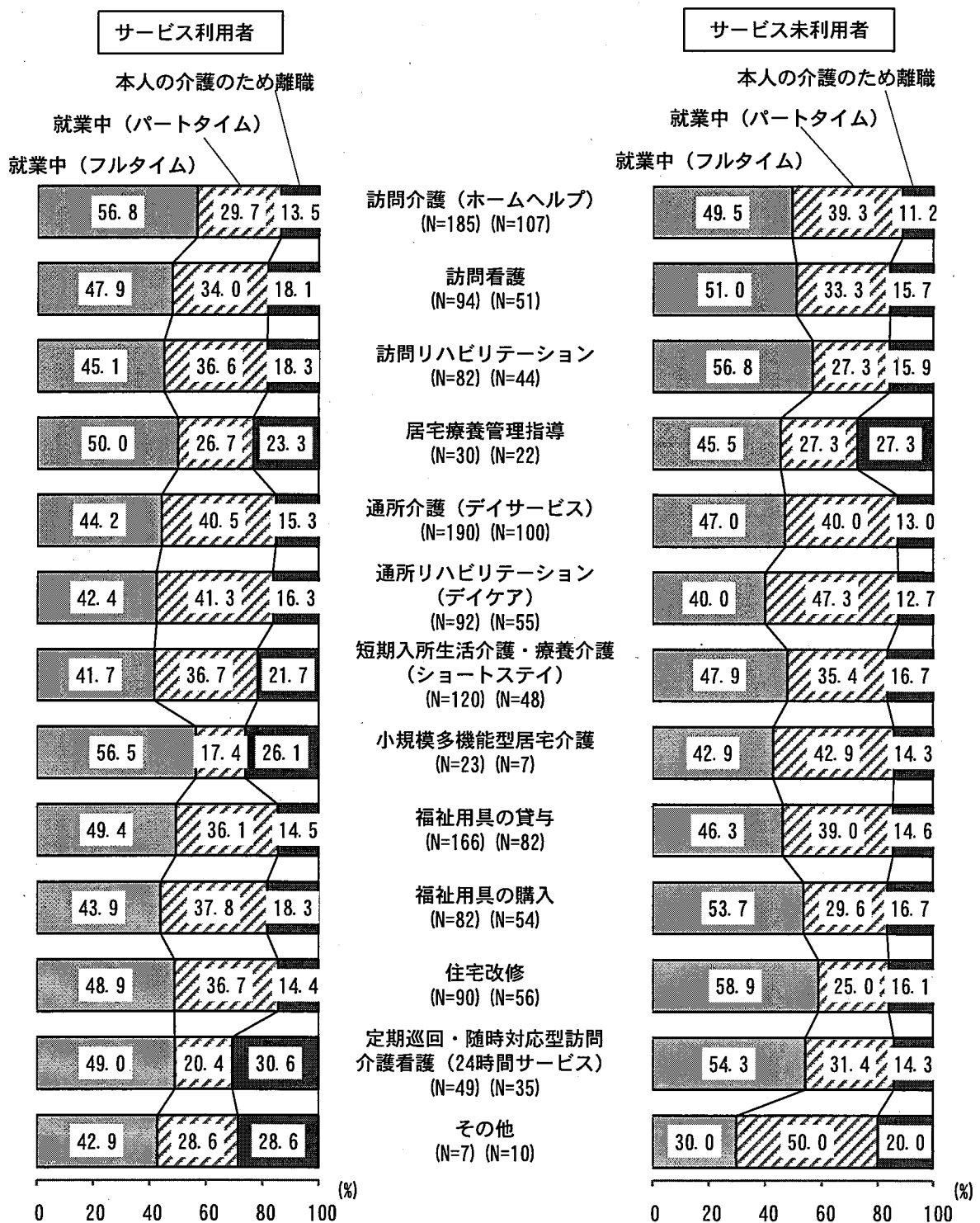
介護者が仕事を続けるために必要な介護保険サービス別でみると、サービス利用者・未利用者の両介護者とも「就業者（フルタイム）」が、在宅・施設のサービスに関わらず最も多くなっている。また、サービス未利用者では、施設等に入所・入居すると仕事を続けることができる介護者が「就業者（フルタイム）」で55.3%を占めている。（図3-9-12）

【図3-9-12 介護者の就業状況（介護者が仕事を続けるために必要な介護保険サービス別）】



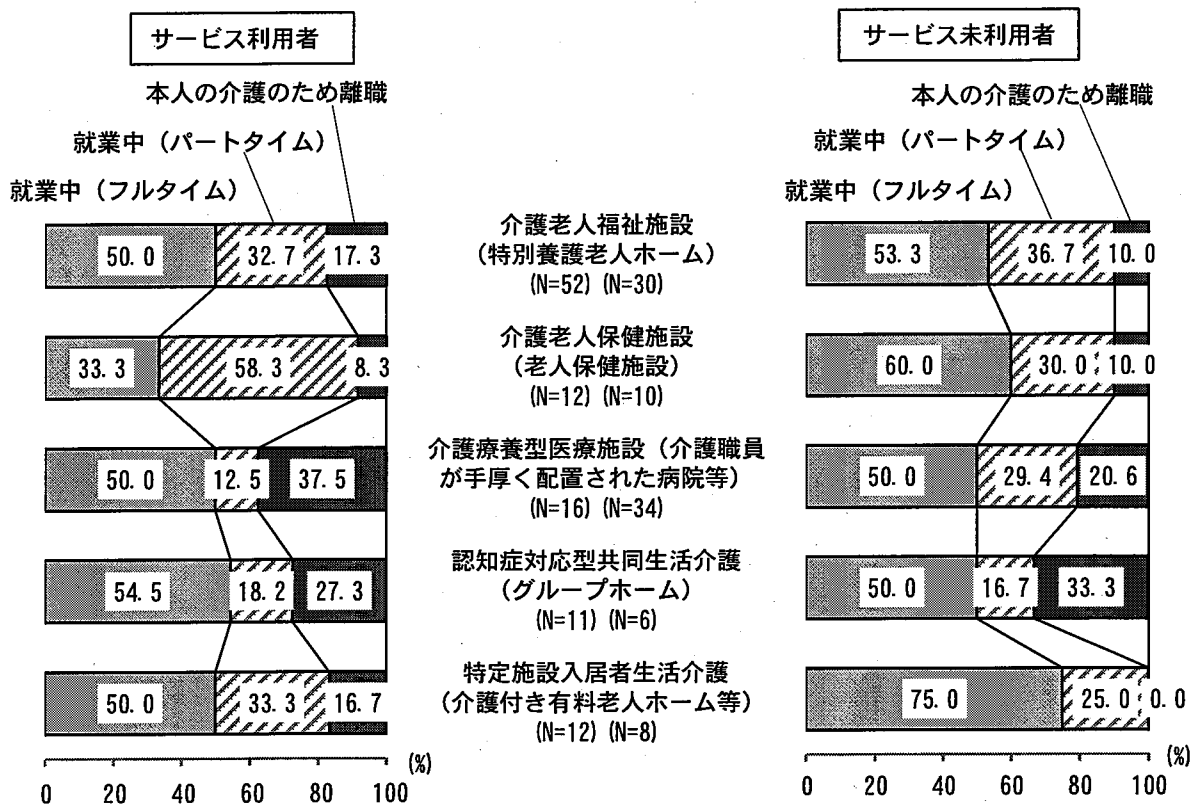
介護者が仕事を続けるために必要な在宅の介護保険サービス別でみると、サービス利用者の介護者では、在宅サービスに関わらず「就業中（フルタイム）」が最も多くなっており、なかでも、訪問介護の利用、居宅療養管理指導の利用、小規模多機能型居宅介護の利用を希望する各介護者は5割台となっている。一方、サービス未利用者では、通所リハビリテーションの利用を希望する介護者は「就業中（パートタイム）」が47.3%で最も多くなっており、小規模多機能型居宅介護の利用を希望する介護者は「就業中（フルタイム）」と「就業中（パートタイム）」とも42.9%で同率となっている。それら以外の在宅サービスを希望する介護者は「就業中（フルタイム）」が最も多くなっており、（図3-9-13）

【図3-9-13 介護者の就業状況（介護者が仕事を続けるために必要な在宅の介護保険サービス別）】



介護者が仕事を続けるために必要な施設の介護保険サービス別でみると、サービス利用者では、介護老人保健施設の利用を希望する介護者が「就業中(パートタイム)」で58.3%となっており、それ以外の施設サービスを希望する介護者は「就業中(フルタイム)」が5割台で最も多くなっている。一方、サービス未利用者の介護者では、施設サービスに関わらず「就業中(フルタイム)」が半数以上となっている。(図3-9-14)

【図3-9-14 介護者の就業状況(介護者が仕事を続けるために必要な施設の介護保険サービス別)】



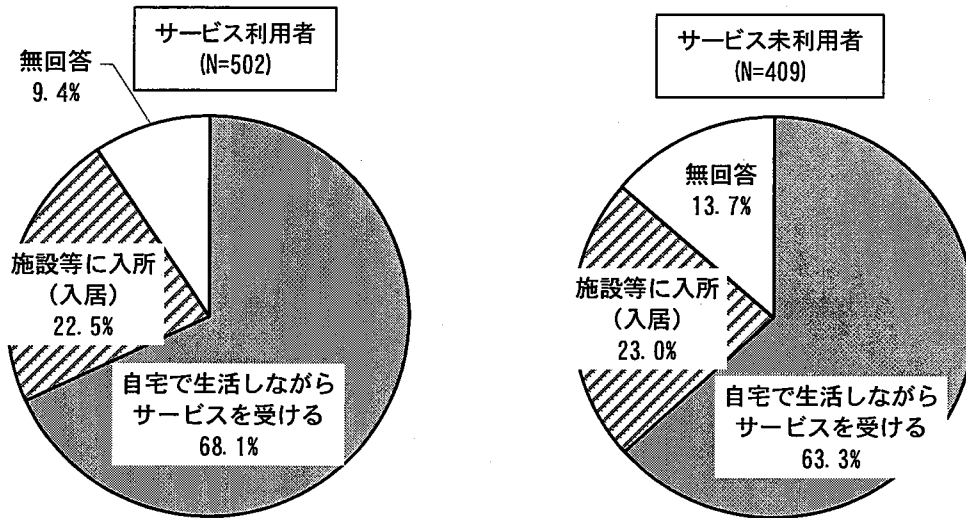
⑩ 介護者が仕事を続けるために必要な介護保険サービス

【問28で「1 就業中（フルタイム）」、「2 就業中（パートタイム）」、「3 本人の介護のため離職」に○をつけた方のみお答えください。】

問29 (27) 仕事を続けていくにあたって、必要な介護保険サービスはどちらですか。

(○はひとつ)

【図3-10 介護者が仕事を続けるために必要な介護保険サービス】



就業中もしくは、本人の介護のために離職したと回答した人に、介護者が仕事を続けるために必要な介護保険サービスについてたずねると、サービス利用者・未利用者の両介護者とも「自宅で生活しながらサービスを受ける」が6割台、「施設等に入所（入居）」は2割台となっている。(図3-10)